

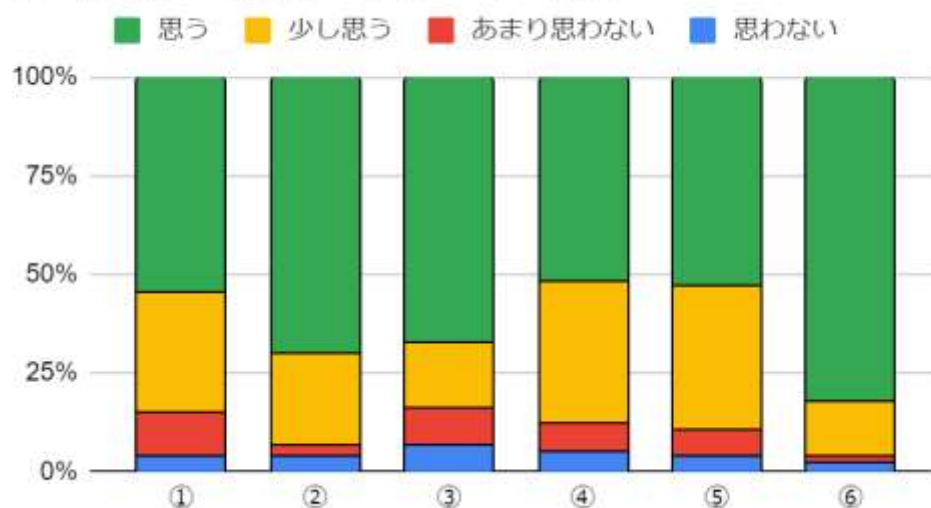
令和3年度研究のまとめ

(1) 児童アンケートの結果

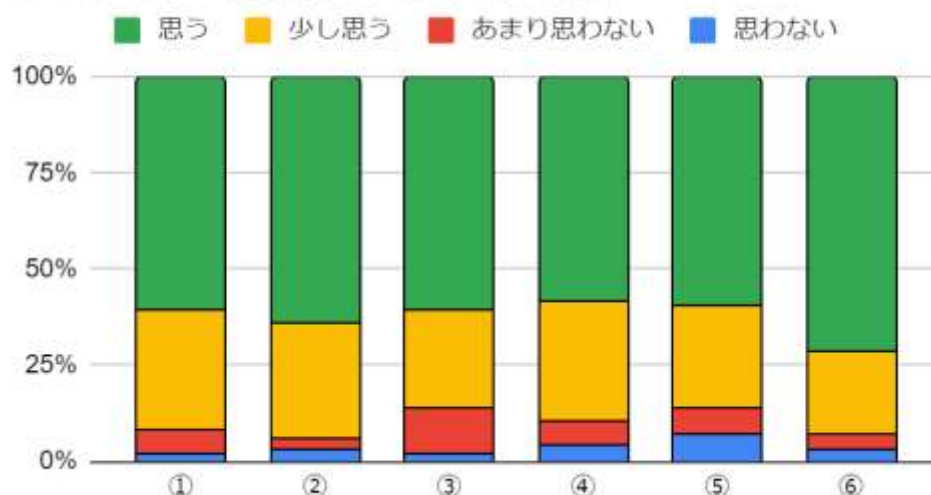
<低学年用 アンケート質問項目>

- ①「いろいろなことを もっと しりたい」と おもい、「自分で やってみよう」という気持ちで ベんきょうに とりこんでいますか。
- ②ともだちの かんがえを 自分の かんがえと くらべながら 聞いていますか。
- ③ともだちや ほかの人の はなしを 聞いて、自分の かんがえを もういちど たしかめたり、なおしたりしていますか。
- ④自分の かんがえの りゆうを もつことが できていますか。
- ⑤1つのこたえが 見つかって、もっとよい こたえが ないか かんがえていますか。
- ⑥すぐに こたえが 見つからない もんだいでも、あきらめずに とりこんでいますか。

1年全体 授業アンケート結果



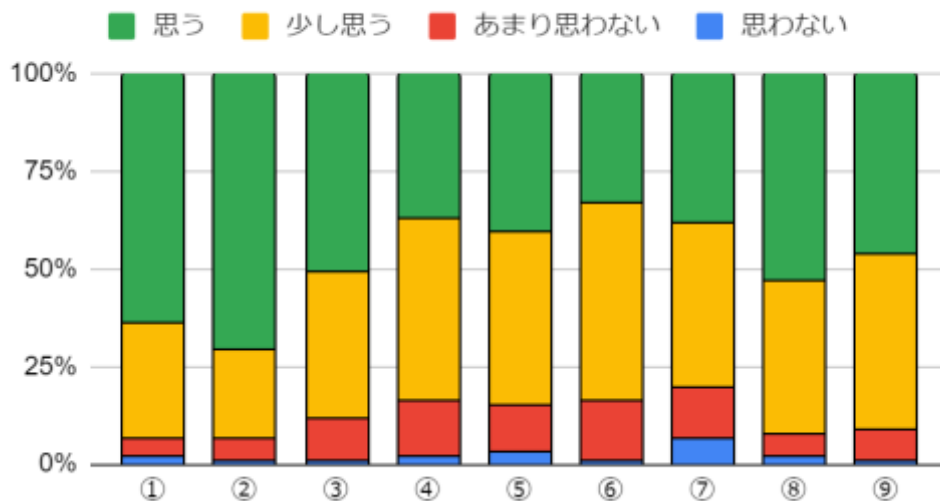
2年全体 授業アンケート結果



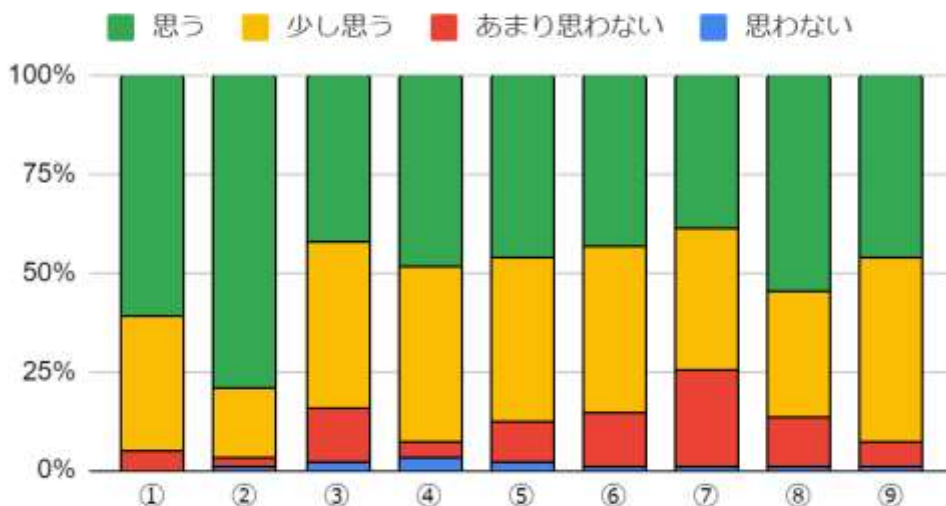
<中・高学年用 アンケート質問項目>

- ① 問題解決のために、コンピューターを活用し調べることができますか。
- ② コンピューターなどの情報機器を前の学年よりも使えるようになりましたか。
- ③ いろいろなことに興味をもち、学習に自分から進んで取り組んでいますか。
- ④ 友達の考えを自分の考えと比べながら聞いていますか。
- ⑤ 友達や他の人の意見を取り入れながら、よりよい考えがないか見直すことができましたか。
- ⑥ 自分の考えについての根拠(こんきょ)や理由をもつことができますか。
- ⑦ 1つの答えが見つかって、さらによい答えがないか考えていますか。
- ⑧ すぐに答えが見つからない問題でも、あきらめずに取り組み続けていますか。
- ⑨ 問題を解決するために自分にとって必要な情報を選ぶことができますか。

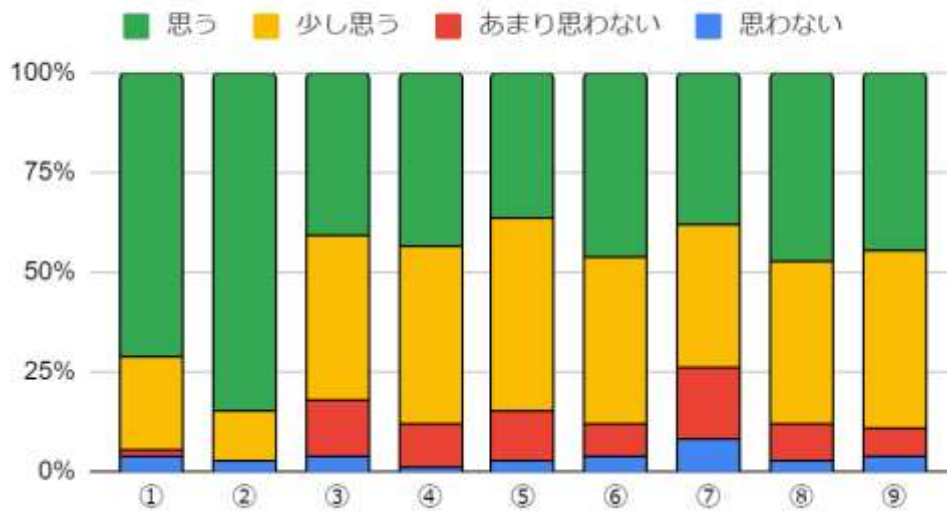
3年全体 授業アンケート結果



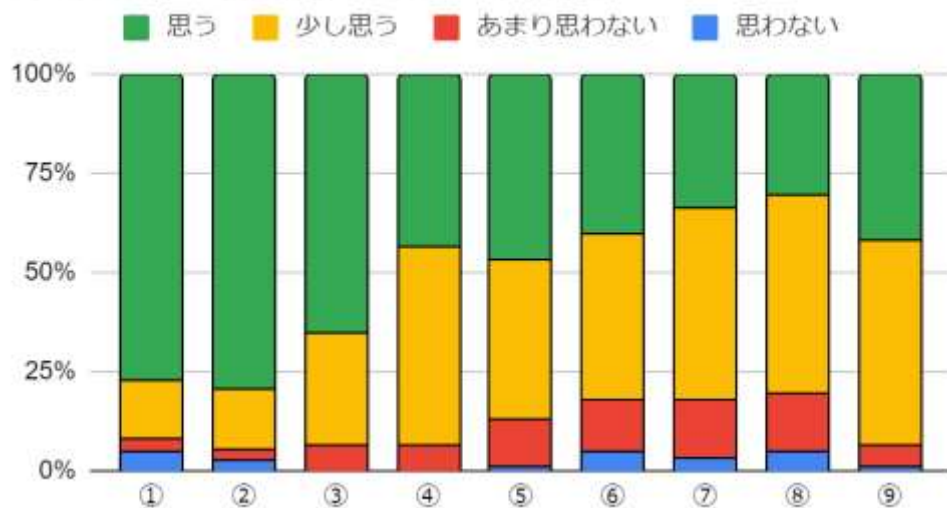
4年全体 授業アンケート結果



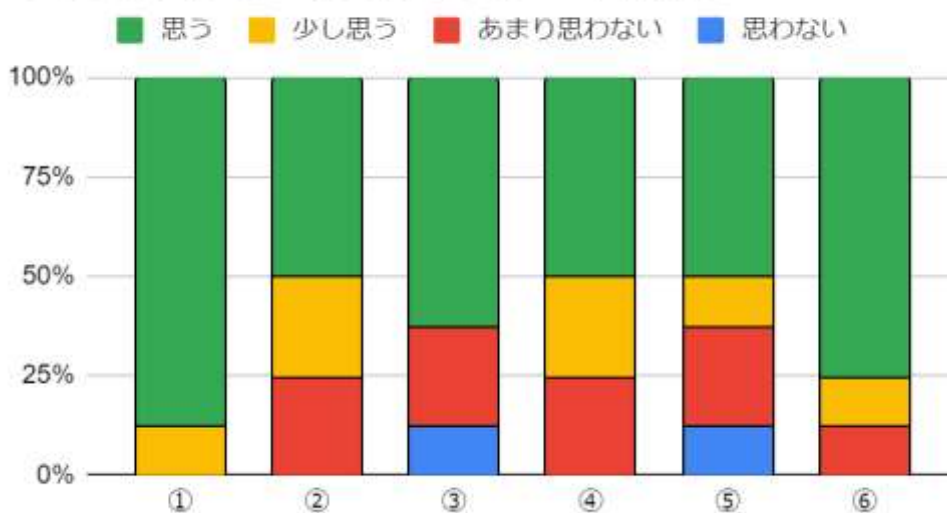
5年全体 授業アンケート結果



6年全体 授業アンケート結果



のぞみひかり 授業アンケート結果



※のぞみ・ひかり学級は低学年用アンケートに回答

<低学年>

- 全体的に思うと答えた児童が多い。
- 低学年は、あきらめずに問題に取り組むことができた。
- ▲友達の意見を聞いて、自分の考えを見直したり確かめたりすることができていないと感じる児童が多い。
- ▲自分の考えに理由をもつことに課題がみられる。

<中学年>

- コンピュータの技能が高まったと感じている児童が多い。
- 難しい課題でもあきらめずに取り組んでいると感じている児童が多い。(3年)
- コンピューターを活用し調べることができた。
- 情報機器を前の学年よりも使えるようになった。
- 友達の考えを自分の考えと比べながら聞いている。(少し思うが多い)
- 自分にとって必要な情報を選ぶことができる。(少し思うが多い)
- ▲1つの答えが見つかり、他の答えを考えようとする児童が少ない。
- ▲さらによい答えがないか考えることができていない。
- ▲他の人の意見を取り入れながら、よりよい考えがないか見直すことが不十分。
- ▲すぐに答えが見つからない問題では、あきらめてしまう傾向がある。(4年)
- ▲自分の考えについての根拠(こんきょ)や理由を説明することが苦手。

<高学年>

- 積極的なクロームブックの活用により、ICTの活用能力が上がった。
- 1人一台タブレット端末が支給されたことで、タイピングや検索の技術が向上した。
- クロームブックを活用し、プレゼン能力が向上した。(5年)
- ▲学習意欲や粘り強さが課題。
- ▲自分の考えはもつことができるが、そこで満足してしまう。
- ▲自分の考えに自信をもち、友達の考えと比較・検討しながら、よりよい考えを生み出そうと追求する粘り強さが少ない。

<のぞみ・ひかり>

- 自分でもっと知りたい、やりたいという前向きな気持ちで学習に取り組めた。
- まちがえたり、わからなかったりしてもあきらめずに取り組もうとしていた。
- ▲友達と比べたり、意見を聞いて考えを深めたりは、障害の特性もあって難しい。
- ▲答えが見つかり、そこで考えるのを終わりにしてしまうことが多い。

<全学年を通して>

- どの学年でも、情報機器をよく扱えていることが分かる。
- 一つの課題や目的に向けて、粘り強く取り組む姿勢は育ってきている。

▲一つの答えが見つかり、新たな視点を求めたり違う考えがないか確かめたりするなど、課題を見つめ直したり、よくよくしていこうという粘り強さが足りない。

▲どの項目にも「そう思わない」と答える児童がいることから、能力の向上や技能の定着に個人差があることが分かる。

(2) 今年度の成果と課題 (○成果▲課題)

○技能面については、どの学年も十分に指導が行えた。Chromebook が配布されたことで、児童が端末に触れる機会も増え、他教科でも活用できた。

○スクールタクトで個人の意見などを互い見ることができ、児童にとって参考になっていた。

○ふりかえりについては、Chromebook を活用した振り返りの方法を試すことができ、児童も慣れてきた。

○総合的な学習の時間では、活動の記録(プログラム)を写真で残すことができた。また、写真を蓄積することで児童が課題を把握できていた。

○発表、まとめについては、低中学年では、Chromebook を活用して、自分の考えを簡単にまとめられるようになった。

○発表、まとめについては、高学年は、Chromebook を活用することで発表内容が明確になり、発表力が向上した。

○見合う時間の確保については、共同閲覧モードを使って、授業の後半に互いの意見を見合う時間を設け、共通理解を図れるようにした。

▲Chromebook を活用した発表やまとめは、紙に書くよりも、個人差が大きく、時間内で完成させようとする、完成度に違いがでてくるため、まだ難しいところがある。

▲インターネット等で得た情報を整理したり、比較したりして再構成する力も付けていきたい。

▲総合的な学習の時間では、個人、グループ同士、外部の方等様々なパターンでの見合う時間の確保が理想だが、単元計画上難しさが残る。

▲見合う時間の確保は、児童の機械は何でもできるという考えとそれに答えようとする教師の働きかけによって計画が遅れ、十分にはできなかった。

(3) 次年度以降伸ばしていきたい児童の力

- ・紙、端末に限らず、まとめたものを発表する力
- ・タイピングや自分の調べたいものを一人で調べられる力
- ・他の意見をよく聞いて、よりよいものにしようとする力
- ・粘り強く自分自身で課題に取り組む力
- ・ルールやきまりで縛るには限界があるため、学習規律を含めた児童のモラルを高める。
- ・ネットモラル等将来の自立につながるような情報活用能力の育成